

1 調査名称：（柏市）都市・地域総合交通戦略策定調査

2 調査主体：柏市

3 調査圏域：柏市全域

4 調査期間：令和元年度～令和２年度

5 調査概要：

当該業務は、平成２１年度に策定した柏市総合交通計画（現行）が目標年次を迎えることから、本市を取り巻く社会状況の変化、柏市総合交通計画（現行）からの課題を踏まえ、今後の柏市における交通のありかたの基本方針や関係者の役割分担を踏まえた実施プログラムと推進体制を明確にし、より実効性を有する第二次柏市総合交通計画を策定を行う。

I 調査概要

1 調査名称

第二次柏市総合交通計画策定業務委託

2 報告書目次

1. 第二次柏市総合交通計画について

- 1. 1 計画の目的
- 1. 2 計画体系
- 1. 3 上位・関連計画
- 1. 4 第一次柏市総合交通計画の評価

2. 現況分析と交通課題の整理

- 2. 1 現況・将来の見通し
- 2. 2 交通課題

3. 将来ビジョンと基本理念

- 3. 1 まちづくりにおける将来像
- 3. 2 交通ネットワークに係る将来像
- 3. 3 総合交通計画の基本理念，基本方針

4. 実現化施策

方針 1－1

定時制・速達性の確保，災害に強い道路ネットワークの形成

方針 1－2

都市や地域間の移動を円滑にする公共交通ネットワーク

方針 2－1

にぎわいのある都市拠点を演出する交通環境の実現

方針 2－2

拠点の移動の連続性を強化する交通結節点機能の形成

方針 2－3

誰もが移動しやすいバリアフリー環境の実現

方針 3－1

地域の需要や個別のニーズに適応した交通サービスの提供

方針 3－2

地域の移動の連続性を強化する交通結節点機能の形成

方針 3－3

新技術の開発による持続可能な交通体系の実現

方針 4－1

環境負荷の低減に向けた交通の実現

方針 4－2

安全で安心して移動できる交通環境の提供

方針 4－3

公共交通の利用促進に向けた交通情報の発信

5. 評価指標の設定

5. 1 評価指標の設定

5. 2 推進管理体制

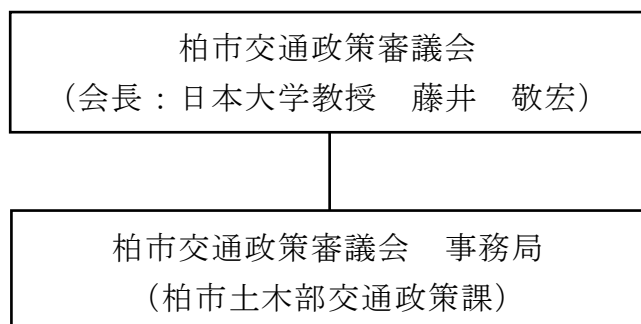
<参考資料>

参考資料 1 第 1 段階評価，第 2 段階評価の結果

参考資料 2 施策の位置図

参考資料 3 用語解説

3 調査体制



4 委員会名簿等：

	氏名	所属
会長	藤井 敬宏	日本大学理工学部教授
副会長	星 雅之	柏市土木部長
委員	伊東 英幸	日本大学理工学部准教授
委員	多田 聡	市民委員
委員	上西 淳二	市民委員
委員	矢島 歩惟	市民委員
委員	齋藤 綾乃	市民委員
委員	塩ノ谷 浩司	東日本旅客鉄道株式会社 東京支社
委員	小瀧 正和	東武鉄道株式会社
委員	大田原 淳	首都圏新都市鉄道株式会社
委員	武藤 一彦	東武バスイースト株式会社
委員	吉崎 貴満	阪東自動車株式会社
委員	中嶋 貞治	松戸新京成バス株式会社
委員	檜山 雅紀	ちばレインボーバス株式会社
委員	松丸 尚	柏地区タクシー運営委員会
委員	神森 友秀	千葉国道事務所

委員	高田 穰	千葉県柏土木事務所
委員	斯波 恭太郎	国土交通省関東運輸局千葉運輸支局
委員	西川 純一	千葉県柏警察署
委員	井出 茂	柏市道路総務課長
委員	竹浪 一導	東武バス労働組合
委員	根本 利治	柏市ふるさと協議会連合会
委員	伏野 龍弥	柏商工会議所
委員	鈴木 美岐子	柏市社会福祉協議会

※令和３年３月３１日現在

Ⅱ 調査成果

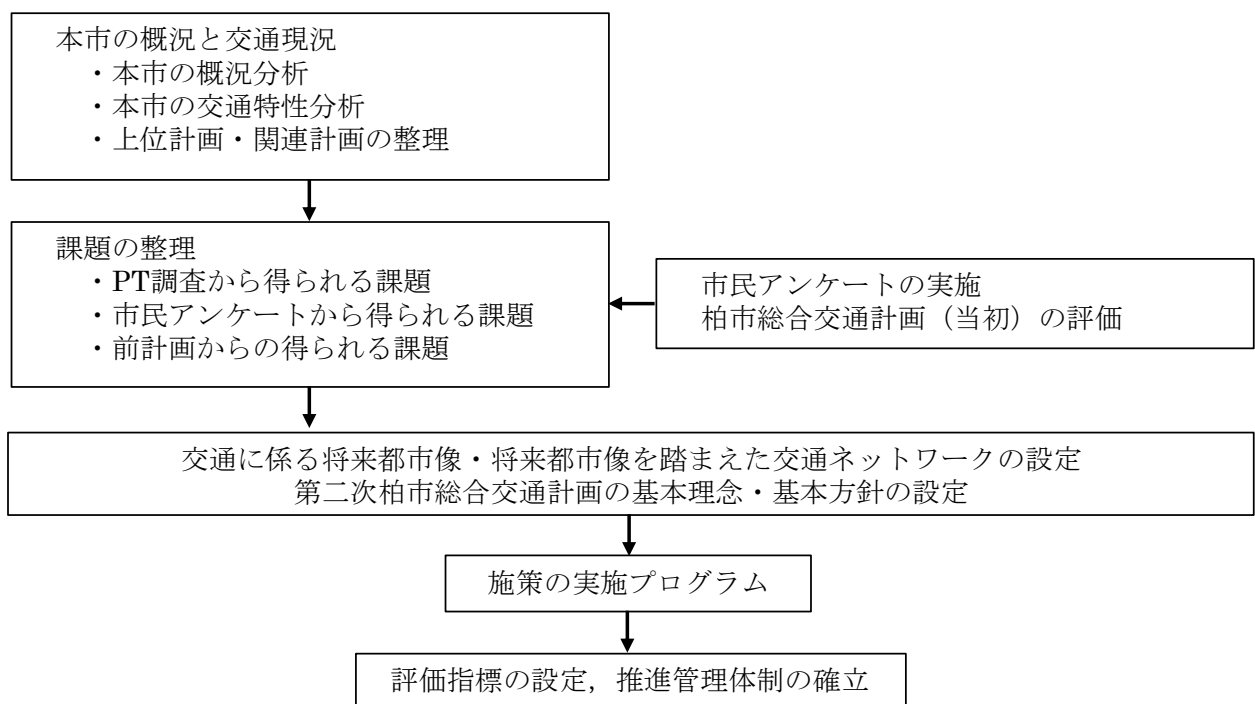
1 調査目的

近年では高齢化や生産年齢人口の減少に代表されるように、社会動向の変化は大きく、これまでの延長線ではない発想が求められており、“移動”をささえていく交通の役割も日々変化しております。

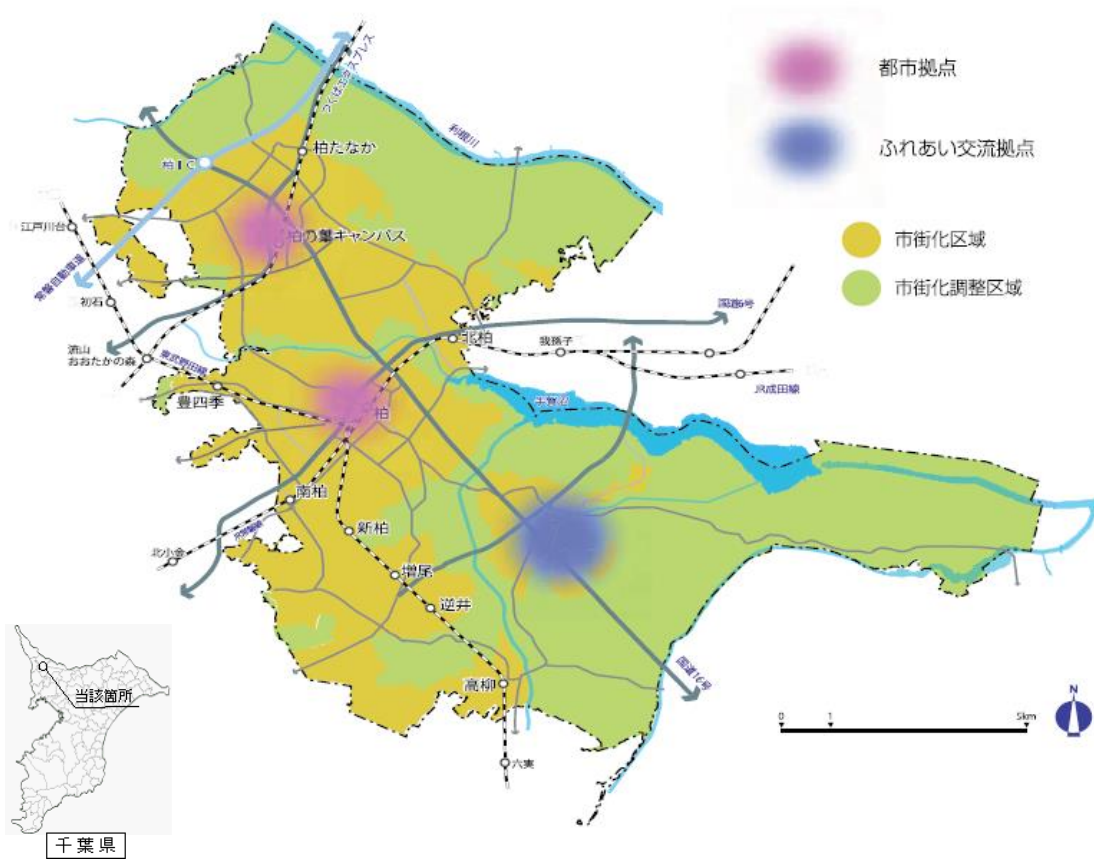
「第二次柏市総合交通計画」は、柏市の様々な交通課題とこれを解決するために向かうべき方向を整理するとともに、交通に関する各計画 ①柏市地域公共交通網形成計画 ②柏市自転車総合計画 ③柏市駐車場整備計画 ④柏市都市計画道路等整備プログラム ⑤柏市環境基本計画を包括する「交通のマスタープラン」として、また、柏市都市計画マスタープランや柏市立地適正化計画といったまちづくりに関する各計画と連携した計画として策定してまいります。

今後、様々な施策を実施していくにあたって、策定主体である行政（柏市）、地域の足となっていただいております交通事業者、地域をサポートいただく住民方々、交通に関わる様々な皆様が活用いただくため、柏市として目指す交通体系や施策の実施プログラムを取りまとめた計画書として策定するものです。

2 調査フロー



3 調査圏域図



4 調査成果

別紙参照

第二次柏市総合交通計画 ～概要版～



I 計画体系

●計画の位置づけ

柏市における交通政策に関する方向性を示すとともに、様々な交通課題に対応するための施策体系をとりまとめた「交通のマスタープラン」となるものです。

●計画期間

令和 19(2037)年度までの計画となります。

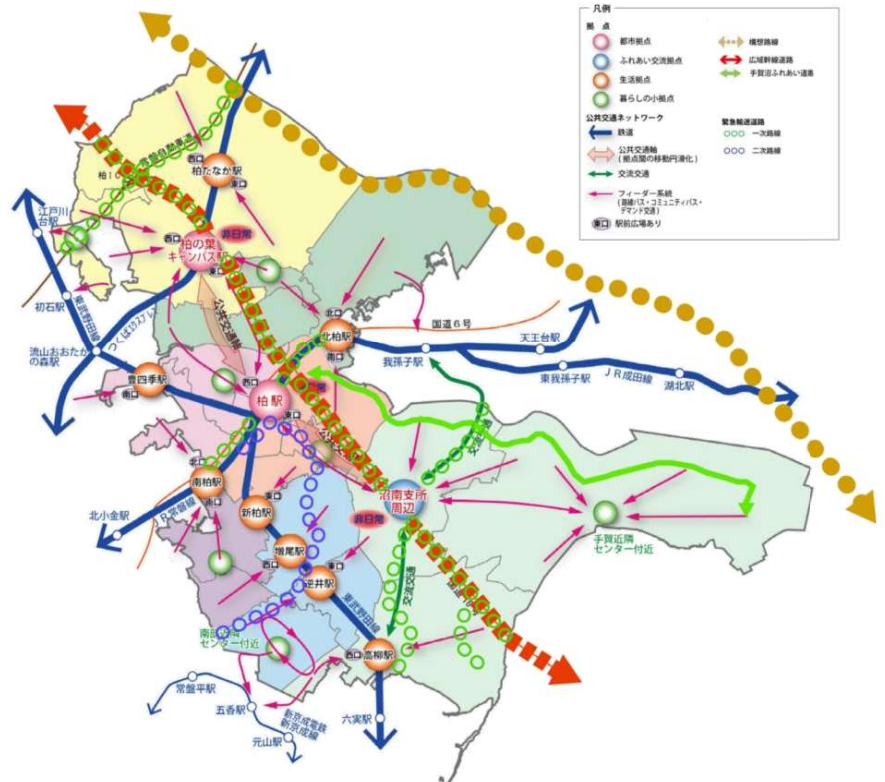
- ・短期施策：令和 8(2026)年度まで
- ・中期施策：令和 13(2031)年度まで
- ・長期施策：令和 19(2037)年度まで

●計画区域

対象区域は、柏市全域とします。

II 将来ビジョン

■将来像を踏まえた交通ネットワーク



III 基本理念と方針

【基本理念】

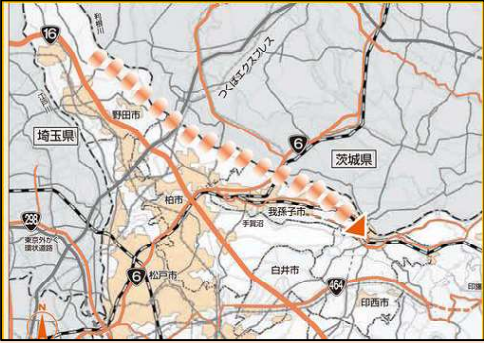
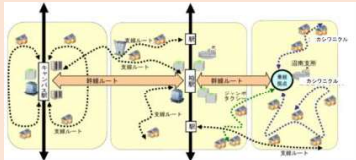
くらし・まち・ひとの活動をささえ、未来へつづく交通を実現

【基本根理念を踏まえた基本方針】

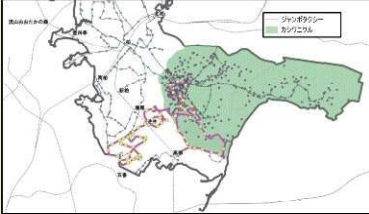
方針 1 快適な移動をささえる	1－1 定時性・速達性を確保、災害に強い道路ネットワークの形成 1－2 都市や地域間の移動を円滑にする公共交通ネットワークの形成
方針 2 都市の拠点をささえる	2－1 にぎわいのある都市拠点を演出する交通環境の実現 2－2 拠点移動の連続性を強化する交通結節点機能の形成 2－3 誰もが移動しやすいバリアフリー環境の充実
方針 3 地域の生活をささえる	3－1 地域の需要や個別のニーズに適応した交通サービスの提供 3－2 地域の移動の連続性を強化する交通結節点機能の形成 3－3 新技術の開発による持続可能な交通体系の実現
方針 4 市民の意識をささえる	4－1 環境負荷の軽減に向けた交通の実現 4－2 安全で安心して移動できる交通環境の提供 4－3 公共交通の利用促進に向けた交通情報の発信

Ⅳ 実現化施策

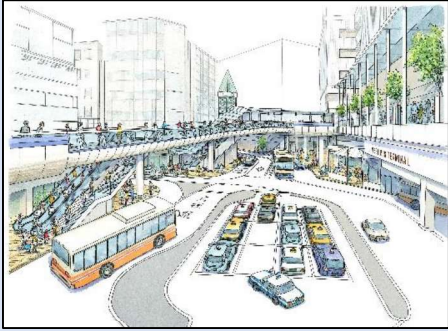
1 快適な移動をささえる

定時性・速達性の確保、災害に強いネットワークの形成	(1) 一般国道6号 16号の渋滞緩和による交通の円滑化 ①千葉北西連絡道路の整備 ②都市軸道路の整備 ③ライブカメラの増設 (2) 都市計画道路および市内幹線道路の整備 ・優先路線の整備の推進 (3) 交差点改良などによる交通の円滑化 ①右折（左折）レーンの増設や延伸 ②立体交差 (4) 自転車通行環境の整備 ①ネットワーク路線の整備 ②駐輪場の再編 ③自転車活用推進計画の策定 ■千葉北西連絡道路の全体計画  ■ライブカメラの映像  ■自転車通行環境整備 
都市や地域間の移動を円滑にする公共交通ネットワーク	(1) 広域的な輸送力の強化（公共交通） 広域輸送手段の拠点化（新幹線、リニア乗車駅、空港等） (2) 地域状況に応じたバス路線の再構築 ■バスネットワーク再編の概念図  ■鉄道延伸など輸送力強化のイメージ 

3 地域の生活をささえる

地域の需要や個別のニーズに適應した交通サービスの提供	(1) 公共交通空白不便地域における新たな生活交通の確保 ・市からの支援を受けながら、地元組織と協働で運行する (2) 移動支援 ・「かしわ乗合ジャンボタクシー」や「カシワニクル」について利用者のニーズを踏まえたルートやエリアの再編など ■かしわ乗合ジャンボタクシー・カシワニクル路線図 
地域の移動の連続性を強化する交通結節点機能の形成	(1) 地域間移動の円滑化 ①地域施設と連携した待合環境 ②サイクルアンドバスライドの促進 ■自動運転バス（実証実験中）  ■サイクルアンドバスライド（中ノ橋駐輪場） 
新技術の開発による持続可能な交通体系の実現	(1) 新技術の活用 ①自動運転の実証事件と導入 ②Mass の導入 ③超小型モビリティ

2 都市の拠点をささえる

にぎわいのある都市拠点を演出する交通環境の実現	(1) 中心市街地の更新に向けた交通環境整備（柏駅） ① 柏駅の駅前交通広場（西口） ② ショットガン方式のタクシールール ③ 道路利活用の推進 (2) 新市街地の展開に対応した交通環境の実現（柏の葉キャンパス駅） ① 都市の発展に合わせた交通環境の構築 ② 柏の葉エリアと柏中心市街地を結ぶ公共交通の充実 ③ 新たな交通展開に向けた実証運行 ■ 柏駅の駅前交通広場（西口）  ■ 道路空間の利活用 (左) ハウディーモール (右) 東口ダブルデッキ 
拠点の移動の連続性を強化する交通結節点機能の形成	(1) 駅前広場の整備 ① 北柏駅 ② 高柳駅 ③ 豊四季駅 (2) 拠点における交通モード間の円滑化を推進 ① 駅前広場の待合環境整備（ベンチ、シェルター） ② 案内表示の整備と乗り継ぎ情報の提供 ■ 高柳駅東口 駅前広場  ■ 独自のピクトグラム（柏の葉エリア） 
誰もが移動しやすいバリアフリー環境の実現	(1) バリアフリー環境の整備 ① 車両のバリアフリー ② 駅ホームのバリアフリー化 ③ 駅周辺のバリアフリー ④ バス停のバリアフリー化 ■ ホームドア整備 

4 市民の意識をささえる

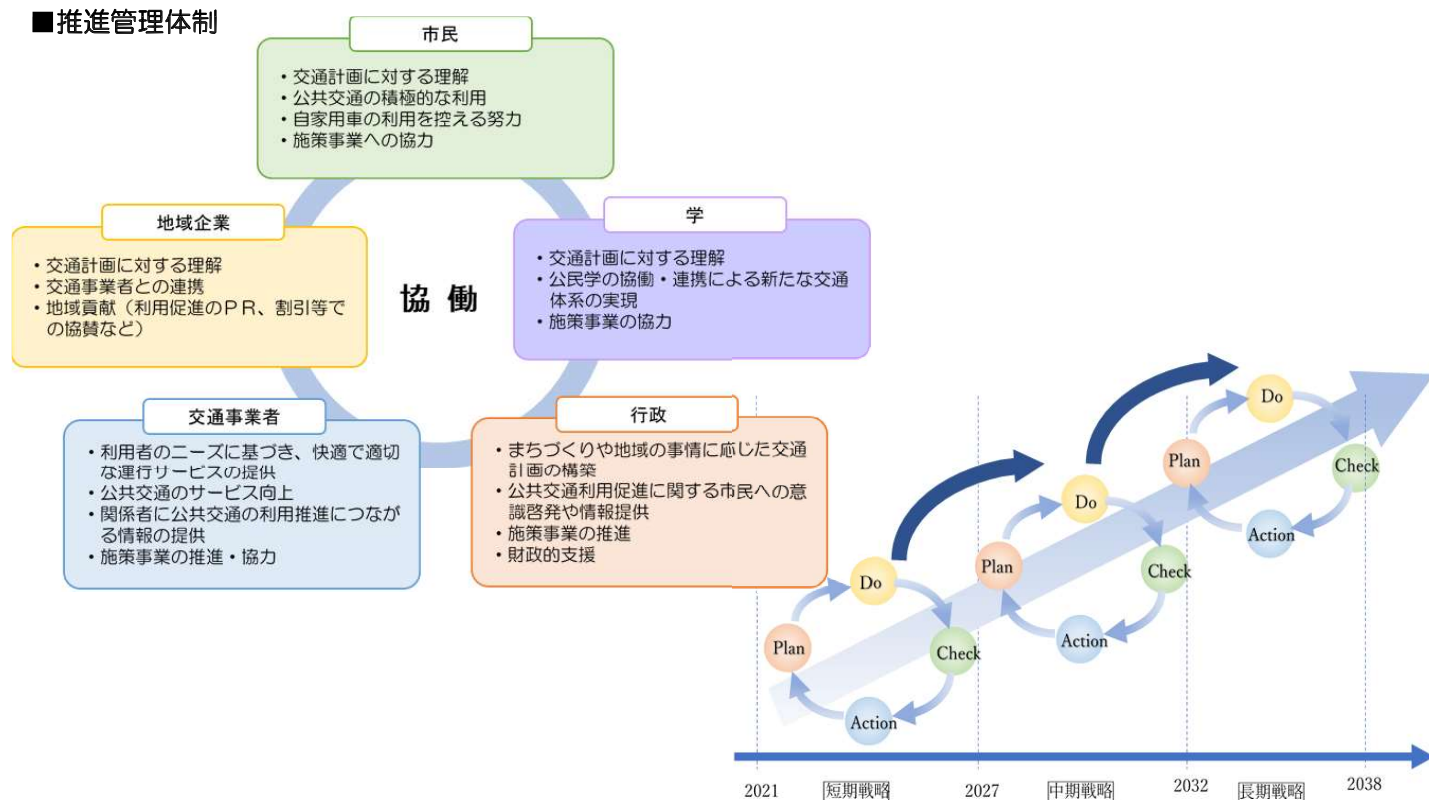
環境負荷の低減に向けた交通の形成	(1) 自転車の利用促進 ① 電動アシスト車の利用促進 ② レンタサイクルの利用促進 (2) 低公害車の普及 ・ 化石燃料を主とする従来の自動車から先進的な低公害車への転換の促進 ■ サイクルステーション（北柏ふるさと公園） 
安全で安心して移動できる交通環境の提供	(1) 交通安全の推進 ・ 交通安全対策の一環として幼児保護者、小学生・小学生児童保護者、中学生、高齢者を対象として「交通安全教室」を開催 ■ 交通安全教室の様子（自転車利用者向け）  ■ モビリティマネジメント（バスの乗り方教室） 
公共交通の利用促進に向けた交通情報の発信	(1) 公共交通の利用促進 ① モビリティマネジメント ② 交通に関する情報の提供 ③ 商業施設と連携したサービスの導入

V 評価指標体系

■評価指標の体系

基本方針	評価指標案	基準値	目標値 (2037年)
1. 快適な移動をささえる	・拠点間の所要時間（路線バスの所要時間） ①柏駅⇄柏の葉キャンパス駅 ②柏駅⇄沼支所周辺：	①25～28分 ②22～27分	短縮、定時制確保
	・柏市内のバス運行本数 ・バス利用者数	・3,590本/日 ・約1,800万人/年	・3,500本/日 ・約1,890万人/年
	・公共交通網に対する満足度	52.9%	58.0%
2. 都市の拠点をささえる	・駅の利用者数（1日平均乗車客数） ①柏駅 ②柏の葉キャンパス駅	①199,260人 ②17,163人	①210,000人 ②23,000人
	・柏駅周辺の魅力度	54.3%	60.0%
	・北部地域の魅力度	47.1%	52.0%
3. 地域の生活をささえる	・公共交通空白不便地域の圏域	24.3%	公共交通空白不便地域の解消に努めます。
	・自動運転バスの導入状況	LEVEL 2	LEVEL 4
4. 市民の意識がささえる	・公共交通の交通分担率	28.2%	30.0%
	・交通事故発生件数	1,158件	1,000件

■推進管理体制



第二次柏市総合交通計画《概要版》

・発行年月：令和3年（2021年）3月

・発行：柏市 土木部 交通政策課

・TEL 04-7167-1219 FAX 04-7167-2586

E-mail kotsuseisaku@city.kashiwa.chiba.jp